

水道の需要調査から 五五年の飲料水を 町は九千人分と推定

六月実施しました水道需要調査結果がまとまりました。この調査の結果では「水道を引きたい」と「老朽化したら引きたい」と回答をいただいた方を合わせますと五〇パーセントに達しました。この結果を参考に横芝町の給水量の推定を行い必要水量を企業団に提出しました。その水量は、給水開始予定の昭和五十一年では、飲用水が日量九七〇トン（約五千人分）その他観光・工業用水を含めて日量三、〇二〇トンになっています。これを目標年次の五五年で見ますと、飲用水に二、二二〇トン（約九千人分）その他の用水を含めて四、二六〇トンとなっています。

液体である」ということです。地下水はごく簡単に取る事は出来ませんが、飲料水に適した水を取ることは年々困難な状況にあります。化学の進歩は私達の生活に密着し、何気なく口にした食物を分析し、日常生活に貴重な警告をしてくれます。最近では、PCBがそのよい例ですが米・野菜・魚等からも検出されている事はご承知のとおりです。その原因は、生産工場からの汚水もありますが、農薬、洗剤等の日常生活からも汚水として流され、地下資源が汚染されているということなのです。これは科学の進歩がもたらした阻害要因であると言っても過言ではありません。

さて、横芝町でも利根川の水を浄化し使用する時が数年後に迫っています。この水を大量に確保しておけば一番よいわけですが、これには莫大な資金を要します。このために需要調査を行ったわけで、隣りの家で引いたから俺の家もという連鎖反应的な普及でも悪いわけではありませんが、今一度

飲料水としての水を各ご家庭で検討願いますれば、計画を担当する町としても実際に近い水量を算定することが出来、皆さんにも有利な水道が引けることになりす

体の七〇パーセント使用に当る四二六〇トンを申込んであり、この数量を越えた分については、すぐには水道加入が出来ない状況下にあるわけです。

くことになりすが水質汚染の現状や全国的に予想される水源不足等を考慮され全戸が加入されるよう希望します。

水道需要調査結果表 (数字は%)

部 落	A	B	C	部 落	A	B	C	部 落	A	B	C
木戸台	34	3	62	古川	32	13	43	鳥喰上	70	6	24
町原	17	17	65	両国新田	28	44	28	鳥喰下	47	16	35
小堤	76	7	7	東町1	38	19	38	鳥喰沼	49	24	20
寺方	53		47	" 2	12	27	61	南	32	8	56
曾根合	44		50	" 3	27	33	36	宮前	40		50
於幾	60	9	26	" 4	34	19	47	荒場	89	11	
坂田	39	17	44	栗山1	73	6	21	三本松	68	11	21
取立	100			" 2	40	19	32	立合	61	14	11
長倉	71	7	21	" 3	62	19	14	南川岸	53	16	27
姥山	78	4	18	" 4~1	27	27	45	道貫	52	17	30
遠山	50	6	39	" 4~2	79		21	新田	25	50	25
中台	41	4	49	" 東部	31	6	63	本郷	79		21
牛熊	60	4	30	伸和会	5	57	29	新島荒場	44	11	44
谷台	64	4	20	青芝会		97	3	三島	44	11	41
上町1	41	15	44	東ヶ丘	16	16	63	入間	17	52	30
" 2	57	8	35	宮脇	55	5	41	三軒家	27	9	64
" 3	57	18	23	南部1	14	42	40	西	57	6	24
" 4	57	10	31	" 2	52	16	32	関場	100		
本町1	39	20	34	四五会	54		46	新青	7	46	43
本町2	55	27	18	四六会	80		20	東	44	26	30
本町3	52	9	39	T.C.C	94						
本町4	41	15	38	鳥喰新田	62	20	17				

注 A. 水道を引く考えはない B. 水道をぜひ引きたい
C. 使用中の水道が老朽化したら引きたい